

苫東環境コモンズの  
活動をまとめて報告



**haskap**  
**NEWS LETTER**

～コモンズの現地から発信する～

# 勇払原野のSPIRIT

## コモンズの視線

ニュースレター第26号をお届けします。当NPOは今年の1月に10周年を迎えたことから、これを一つの節目と考え、足元を見直すいい機会を得ました。もちろん、コロナ禍の影響もあって森づくり研修などが中止になり、フォーラムが延期になるなど、ゆとりの時間もありませんでした。見直しでまず挙げなければいけないのは、日常的に活動するメンバーが着実に十歳年嵩を増したことに伴い、作業の目標値をちょっと下げることにしたこと。スローガン「年寄、半日仕事」は、楽をするためではなく実は長く続けるため、でした。一方、後継者ですが、これは高望みできません。NPOのミッションと、どこに居るかわからない後継者予備軍のモチーフとはなかなか一致しないでしょうから、ダメもとで淡々と広報活動に務めます。が、発想を替えて新たな構想も練ってみたいところです。苫東コモンズの底辺は広大な社会実験の余地をたっぷり残しているからです。

HP <http://hayashi-kokoro.com/commons00.html>

## TOPIC 1

### 10周年記念誌とDVDを発刊



記念誌の表紙

写真を載せたグラビア、活動する会員を中心にした24名の寄稿、ニュースレター全25号、最後に環境コモンズ研究会に報告したレポート「苫東コモンズの経過と展望」で構成されています。

裏扉には、動画と静止画を組み合わせたナレーション付きで活動を解説したDVD（記念誌と同名）が添付されています。70部の印刷製本で、現会員のほか、お世話になったOB会員、法人会員、関係者に感謝の意を込めて贈呈しました。公的などころでは苫小牧市立図書館に1冊お送りしました。

なお、DVDは下記 you tube でご覧いただけます。

<https://www.youtube.com/watch?v=PMRf9Qn05VY&feature=youtu.be>

## TOPIC 2

### 四季の山菜づきあいにも重心移動



春の山菜 スドキとワラビ

リードに書いた高齢化への対応と関連しますが、昨年まで無雪期は風倒木処理や薪作りに追われ、比較的タイトな時間割で山仕事を進めてきました。そのため現地にふんだんにある山菜採りは、作業前後や昼休みに仕事の合間をぬって楽しんできましたが、「待てよ、山菜採りこそ雑木林と付き合う本命ではないだろうか」

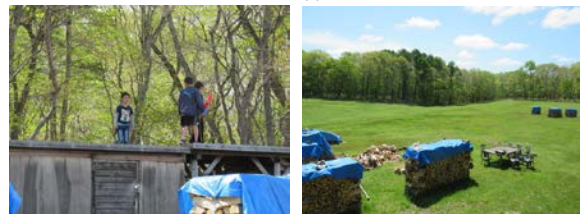
という思いから、今季は午後すべてを山菜に回すことができるように体制をシフトしました。

コモンズの現地では、春にはアイヌネギ、アズキナ、スドキ、コシアブラ、タラの芽、ミツバ、ワラビ、ポウフウ、コゴミなどがあり、秋にはボリボリ、ラクヨウ、各種シメジ、エノキタケなどをごく普通に採取してきました。

この恵みは勇払原野の宝であり、これからも薪と並ぶ苫東コモンズの魅力であり続けます。

## TOPIC 3

### コモンズが実践応用段階へ



コロナ禍の休みに薪小屋と広場で遊ぶ子ら

苫東コモンズが、誰でもアクセスできるエリアを創造することを目的にしていることは、意外と知られていません。そもそも苫東そのものが固有の会社の所有地ですから、その緑地がフリーアクセスの別天地であることはよほど土地勘があるか、関係者でもないとするべきがないのです。

そんな中、遠浅であれば、ようやく子供たちは薪小屋の屋根に登ったり、一部の方とはいえ散策に来る人も現れ、少しずつ認知度は上がってきたようです。一方、東側の平木沼緑地であれば、春秋の山菜の時期に大勢の車が往来します。

しかし、薪や丸太が盗難にあったり、ゴミや空き缶が増えたり、山菜が早々に採られてしまうことなどが続くと、コモンズを返上し排他的に独占したくなるのが人情です。これこそ、「コモンズの悲劇」やジレンマの始まりですが、そのジレンマをどのようにルール化して周知していくのか。ハスカップ原生地のサンクチュアリが遊水地になってコモンズ化する動きと合わせ、注視していくべきテーマになっています。

## TOPIC 4

### 遠浅町内会、アイリス公園利用者を調査

TOPIC3のような現状にあって、遠浅町内会が管理し

ていたアイリス公園が、管理者の高齢化によって継続が不可能になったとして、公園の利用管理主体を町役場に返上したいとの声が上がっています。この流れを受けて、町内会では、利用者調査を行うべく公園入口に入林者ノートを置いてデータ収集を始めました。



新緑のアイリス公園

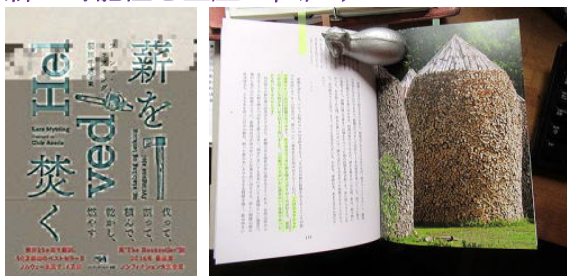
NPOは、アイリス公園と呼ばれる一帯を含む70ヘクタール全体について修景に配慮した保育管理を担っていますが、除間伐と薪作りのほか、長いフットパスの刈り払いをシーズン2回行うだけで、広場の4回刈りを肩代わりする余力はありませんし、また名乗り出るべきではないと考えてきました。

誰が行うかはまさに静観しながら遅滞なく決める必要がありますが、個人的には「町内会に隣接した林を町民自ら保育する」意味は非常に大きく、担い手については、「役場や関係者と知恵を絞る余地」はまだまだあると思われまふ。存在効果、利用効果は次の世代にも関わることであり、管理対策の現実を分けて考えた方がいいのではないかと。

まず、安平町役場と町内会で将来について十分協議し、所有者の苫東や大島山林全体の管理協定を結んでいる当NPOも巻き込むなどして、ワイズ・ユースを目指してほしいところです。

**TOPIC 5**

**薪の可能性と生産の仕組み**



薪の名著『薪を焚く』とそこで紹介されている薪棚の例会員の船木幹也さんに紹介されたこの本は、北欧はノルウェーの庶民に蓄積された薪のノウハウをいかに開陳しており、北海道にはまだない、まさに北欧の文化を感じさせます。上の写真のような薪棚はコンテストが行われ、何枚かの美しく機能的な薪棚が登場します。

さて、当NPOが薪会員に限定して分譲してきた「雑木薪」も、除間伐を担ってきたメンバーの高齢化を背景に、来年の春の分譲が最後になりました。そのあとは、冬季除間伐に従事している薪ストーブ愛好の者数名をメインにして薪作りを行うこととなります。

安定した薪供給には、薪調達を人任せにしない努力と交渉も必要です。土地所有者との付き合い方ひとつ

で、win-winの薪調達が可能になることも少なくないのです。薪ストーブのある暮らしは、そのような自ら薪を賄う日常によって完結する…。ノルウェーの名著はそのようなことも考えさせます。そのために生涯現役でありたいと願うものです。

**令和2年5月以降の主な活動**

\* 行事末尾の数字は参加者数

- 5/02 sat 大島山林の間伐材の薪割り ⑨8
- 5/09 sat 薪割りと薪積み⑩ 薪会員への運搬(午前、午後) 9
- 5/16 sat 薪割りと薪積み ⑫ 山菜取り 8
- 5/23 sat 薪割りと薪積み、電牧補修 +山菜 7
- 5/30 sat 薪関係終了し、林道の刈り払いへ 9
- 6/6 sat 薪積みとフットパスの刈り払い 8
- 6/13sat 廃材の片付け&林道と広場の刈り払い 9
- 6/20 sat 大島山林の林道の刈り払いと苗畑づくり 8
- 6/27 sat 静川周辺の林道の刈り払い 1
- 7/04 sat 静川周辺の林道の刈り払い 4
- 7/11 sat 休み=自由研究、自由活動
- 7/18 sat ハスカップ摘み 30
- 7/25 sat 大島山林の2回目のフットパス刈り払い、スタート 1
- 8/01 sat 大島山林広場を中心とした刈り払い、苗畑草取りなど 5
- 8/08 sat 大島山林の広場の刈り払い 静川 3
- 8/13 thu 動画制作最終打ち合わせ 1
- 8/22 sat 大島山林のフットパス、一斉刈り払い &静川の小屋周り 6
- 8/29 sat 苫東コモンズ10周年記念の夕べ 10
- 9/5 sat 大島山林の風倒木の片付けと記念誌配布 2
- 9/12 sat 静川小屋の掃除とキノコ散策、大島山林の刈り払い 4
- 9/19 sat 大島山林の林縁刈り払い⑫+風倒木、キノコ観察 7

\* 5/2 からここまで 225 名、昨年秋から延べ約 520 名

//////////////////// **編集後記** //////////////////////

■春から夏にかけて霧雨の雑木林フットパスを何回か



歩きました。そうしてこんな日こそ、森林浴にふさわしいと再認識しました。少し暗く、さびしく、しかし心が洗われる。是非、お勧めしたいものです。

■今季も晴林雨読生活の実践でコツコツと風倒木などを集め、恐らく8立方mの薪を家の周りに固めました。記念誌で薪会員の薪エッセーが好評だったので、今後は、「雑木林&庭づくり研究室」のホームページで、薪ストーブ生活に絞ったエッセーコーナーを新設しようかと思っておりますがいかがでしょうか。会員が審査員になってグランプリには賞として「薪ひと棚」を進呈…、などもいいかな、なんて。

■「小屋は放置林を里山にした」。これは平成9年に新築した静川の丸太小屋で気づいたことです。9/26は大島山林の広場に作業 TENT を移設しました。薪小屋、薪ヤード、作業 TENT、これで小さな「村」あるいは「ポツンと一軒屋」が完成です。さて、どんな里に育つでしょうか。(草苺)

\* 10周年を機にしばしば「苫東コモンズ」と略称していきます。

**お問い合わせ**  
 NPO 法人苫東環境コモンズ 事務局 草苺 健  
 雑木林&庭づくり研究室 <http://hayashi-kokoro.com/>  
[kt-884-556@nifty.com](mailto:kt-884-556@nifty.com) 携帯 090-6999-2765